

公益財団法人軽井沢美術文化学院

2024 年度事業報告書

1. 美術館の運営（公益事業）

2024 年 6 月 8 日（土）～11 月 4 日の間、『坂倉ユリの駆けぬけた美の世界』 同時開催 『倉敷の文化と西村伊作展』を開催。

企画展

第一室 常設展 西村伊作の生い立ちと作品

西村伊作の絵画、陶芸、書籍、手掛けた建築（写真、模型）などを展示。ライフスタイル、子供の教育と文化学院について写真と展示パネルで紹介した。

第二室 倉敷の文化と西村伊作

西村伊作が建築した倉敷教会が 2023 年に 100 周年を迎えたことを機に、大正期の倉敷とその地に残る西村伊作の建築について「倉敷の文化と西村伊作」展を同時開催した。

第三室 坂倉ユリが駆けぬけた美の世界

西村伊作の次女ユリ（1912～2007）はパリ留学時代に出会った若手芸術家、文化学院デザイン科を先導したころに交流した画家、デザイナー、そしてギャラリーサカを通じて親交を深めた時代の先端にある文化人、芸術家たちと広く交友をもった。

2024 年の企画展では、坂倉ユリが時代に応じてしなやかに生み出していった活動や作品、そして彼女の芸術家たちとの華やかな交流について紹介した。

入館者数は 1,620 名で前年の 1,707 名には及ばなかった。

ギャラリートークは 8 月 31 日当財団代表理事の辻原登氏による「陥穽、陸奥宗光の青春」余話と題する講演とが行われ 30 名ほどの参加者との質疑、応答、意見交換が行われ、大いににぎわった。

1) カフェプレオープン 4 月 27 日(土)～5 月 6 日(日)

カフェへの来客が多く、883 千円の売り上げ、昨年度より 114 千円の増加。

2) ローズフェスティバル

- 6 月 22 日(土)～7 月 7 日(日)（水曜日休館日）美術館入館者はカフェ 100 円割引で行った。
秋のアートフェスティバル 10 月 13 日(日)
入館無料でスケッチ大会開催、子供にはクレヨンとスケッチブックプレゼントした。

- ・ ルヴァン美術館夏のコンサート

9回のコンサートを開催した。

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ① 水井敦子オリジナル曲集コンサート「私のスケッチブックより」 | 7月14日(日) |
| ② 香月健&山口佳子 デュオ・コンサート(第1回) | 7月27日(土) |
| ③ 近藤和花ピアノコンサート(第16回) | 8月6日(日) |
| ④ ボサノバ・サパトス/木村 純・三四郎(第20回) | 8月13日(土) |
| ⑤ 寺田悦子・渡邊規久雄/四手連弾ピアノコンサート(第6回) | 8月17日(土) |
| ⑥ 軽井沢ヒルトップス | 8月21日(水) |
| ・ ⑦戸室玄ピアノリサイタル(第4回) | 8月24日(土) |
| ・ ⑧キンボル・ギャラガーピアノコンサート | 9月7日(土) |
| ⑨ヴァイオリン・チェロ・ピアノのトリオ室内楽 | 9月15日(土) |

2. アトリエの運営(公益事業)

アトリエ・ルヴァンでは以下のイベントを開催した

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| ・ 陶芸教室 7月(講師:森田高正) | 7月27日(土) 28日(日) |
| ・ 夏休み 染めの実験教室(講師:立花万起子) | 8月6日(火) 7日(水) |
| ・ 陶芸教室 8月(講師:森田高正) | 8月10日(土) 11日(日) |
| ・ 夏休み 木工教室(講師:永島秀之) | 8月12日(月)~16日(金) |
| ・ Fresh~Dryを楽しむ晩夏のスワッグ(講師:橋本典子) | 8月30日(金) |
| ・ 陶芸教室 9月(講師:森田高正) | 9月14日(土) 15日(日) |
| ・ ウィンターオーナ陶芸教室 | |
| ・ 夏休み 木工教室(講師:永島秀之) | 8月12日(月)~16日(金) |
| ・ Fresh~Dryを楽しむ晩夏のスワッグ(講師:橋本典子) | 8月30日(金) |
| ・ 陶芸教室 9月(講師:森田高正) | 9月14日(土) 15日(日) |
| ・ ウィンターオーナメント作り(講師:大谷香) | 10月5日(土) |

アトリエの貸し出し

- ・ 8月23日(金)~25日(日)の間 ISHII CLASSIC GALLERY に展示、販売のため貸し出し。
2022, 2023年に続き3年目である。

。

3. 美術館付属宿泊設備の運営（公益事業）

これまで学生寮として運営してきたが、2018年3月の文化学院閉校にともない、美術館付属の宿泊設備と登録変更し認可された。主な宿泊者はイベント講師や美術館のコンサート演者で、美術館訪問の一般の方はあまり多くない。

文化学院卒業生および関係者には若干の割引が適用している
今年度の売り上げは18万円。。

4. ショップ、カフェの運営（収益事業）

ショップ売上は約125万円で昨年度とほぼ同じ。。

カフェの売り上げは801万円で前年度の833万円より4%の減少。

6,7,8月はカフェのシェフが体調不良のため臨時のシェフでメニューも限定し運営したためこの3か月で対前年比68万円ほど減収したことによる。

ただ、休館期間中ブライダルへの美術館、庭園の貸し出しが前年度の3件に対し6件360万円あったため、ルヴァン美術館での、公益と収益事業全体の売り上げは1,590万円で昨年より184万円増加した。

他の団体への寄付

新宮市の西村記念館と旧チャップマン邸については引き続き維持、保全のため20万円の寄付を行った。

評議員会、理事会など

2023年度の決算理事会は書面決議で行い、評議員会は理事も出席の上対面で行った。

2024年度の事業計画、収支予算の理事会は書面決議で行った、

以上